

授業科目名	アスレティックリハビリテーション実習		授業形態	実習		授業科目区分	専門科目 (応用科目)	
担当教員名	藤田 英二					補助担当者名		
単位数	1 単位		履修年次	3年次		受け入れ人数	30名程度	
授業の概要	本授業は、「アスレティックリハビリテーション論」で得た知識を基に、実習を通じて当該分野に対するさらなる知識と技能を身につけることを目標とする。							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法				割合 %
				授業期間				
	授業	テスト	レポート	発表				
	■認知的領域	スポーツ活動を安全に実施できる環境整備と安全管理能力について理解する。また、運動器の機能解剖を基に、スポーツ外傷・障害について理解し、アスレティックリハビリテーションの計画作成に必要な知識を得る。			○			
■情意的領域	当該分野に興味・関心を持ち、意欲的に取り組む意思を持つ。	○						20
■技能的領域	アスレティックリハビリテーションの実施、および安全管理に必要な基本手技ができるようになる。	○						20
成績評価の基準	出席状況、授業への取り組み状況、レポート課題により総合的に評価する。							
テキスト、教材 参考書	参考資料は必要に応じて配布する。 参考書：「公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①～⑨」							
履修条件・ 関連科目	「アスレティックリハビリテーション論」を履修済みでなくてはならない。 解剖生理学、スポーツ医学、救急処置論・実習は履修しておくことが望ましい。		備考(教員メッセージ含む)		受講希望者が受け入れ人数を超過する場合は、4月の1回目のオリエンテーション時に抽選会を行う。この抽選会に参加できない者は、必ず抽選日までにメールなどで連絡すること (fujita@nifs-k.ac.jp)。抽選日以降の履修相談にはいっさい応じない。この授業のすべての連絡は、基本的にWebClass上で行う(必ず定期的にチェックすること)。※場合によりテーピング実技に使用するテープは各自で準備する必要がある。			
オフィス・アワー	随時：スポーツトレーニング教育研究センター2階(藤田研究室)							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	藤田 英二	オリエンテーション						
2	〃	スポーツ現場における安全管理						
3	〃	救急処置実技						
4	〃	評価法実技：ROM						
5	〃	評価法実技：形態およびMMT						
6	〃	肩関節の機能解剖とアスレティックリハビリテーション						
7	〃	上肢の機能解剖とアスレティックリハビリテーション						
8	〃	体幹部の機能解剖とアスレティックリハビリテーション						
9	〃	股関節と膝関節の機能解剖とアスレティックリハビリテーション						
10	〃	ACL損傷について						
11	〃	下肢の機能解剖とアスレティックリハビリテーション						
12	〃	評価法実技：整形外科的検査法						
13	〃	テーピングの効果						
14	〃	レジスタンストレーニング実技①						
15	〃	レジスタンストレーニング実技②						